

森林税を導入して 山林の保全を

有効な財源 県と協議したい



久慈年和
(市民連合クラブ)

議員 十和田市は災害に強いまちと感じている市民が多くいるが、八甲田山は噴火が起きる可能性のある山として災害に対する評価が変わったほか、十和田湖周辺や奥入瀬渓流では落石や土砂崩落の危険な箇所が多くあり、広い範囲で考えれば災害が起きていても不思議ではない

箇所が至るところにある。

治山工事は土砂の流出を防止することで、荒廃地の土砂の移動がなくなり、森林に復旧することが一番の目標だ。水源涵養保安林に指定されている森林は、荒廃地を復旧することで森林を育て、保安林を機能させることが目的だ。市有林内に荒廃地はあるか。

農林部長 市有林内で山地災害を引き起こすほどに荒廃している森林はありません。

議員 市として森林税の導入を県に要請する考えはあるか。

市長 森林税は東北でも青森以外の五県は県税で実施しています。間伐や、そのために必要な森林作業道の設置など、森林整備を行うハード事業と、木材の利用、森林ボランティア、また自然環境学習などのソフト事業にも使えるものです。森林税の導入は里山づくりなどに大変有効な財源であると認識していますので、今後県と協議したいと考えています。

議員 ことし一月に宣言された健康都市宣言に市民一人一人が参加、参画するためにも具体的取り組みが必要だ。総合体育センタートレーニンング室の利用料を六十歳以上は値下げするべきと考えるが。

教育部長 トレーニンング室は専用の高額な器具を設置し、冷暖房を通年使用するなど多くの費用がかかることから料金変更は難しいと考えますが、健康とわだポイントラリーの参加賞であるセンター二階のウォーキングコース無料利用券をトレーニンング室利用まで拡大できるように関係部署と検討したいと考えています。



総面積の約66%は森林です



竹島勝昭
(市民連合クラブ)

議員 ユネスコエコパーク認証登録に向けたスケジュールは。

企画財政部長 二十七年度は学術的な調査研究の結果収集・整理と、国・県及び関係自治体との協議・検討に取り組みます。二十八年度からの二年間で学術的データの補足調査、ゾーニングやその他の合意形成、三十年度に申請書作成に着手、三十一年度に日本ユネスコ国内委員会との調整を行い、たいと考えており、順調に進むと登録決定は平成三十二年ごろの見込みです。今後、進捗状況等を勘案し、可能なものは前倒しで実施したいと考えています。

議員 昨年三月に水循環基本法が制定されたが、三本木原台地の水循環の

ユネスコエコパーク 認証登録のめどは

平成三十二年ごろの見込み

議員 蘇生対策をどう考えるか。

民生部長 これまで治山、治水、農業、工業、飲用、発電など、個々の分野別に施策が展開されてい

ましたが、水循環基本法の成立により地下水も含めた総合的・一体的な水政策が推進されていくものと認識しています。施策の柱となる国の基本計画が本年夏ごろをめどに策定されることから、市としても動向、内容等を踏まえ、総合的な対策、取り組み等の調査研究をしたいと考えています。

の拡充、特殊詐欺への注意喚起や啓発活動、消費生活展の開催、出前講座などによる消費者教育の推進などに取り組んでいます。また、市民の消費生活の向上を目的に掲げる消費者の会については、特に近年、特殊詐欺などが悪質・巧妙化していることから、同会が果たす役割はますます高まっています。引き続き一層の支援に努めたいと考えています。

議員 消費者被害が年々増大しているが、被害防止対策と市消費者の会の育成強化策をどう考えているのか。

民生部長 現在は市消費生活センターの相談員を二名に増員し、相談体制



お気軽にご相談ください